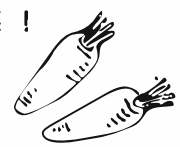




ゆっくりに ゆっくりに

毎日暑い日が続いていますね。光化学スモッグ注意報や警報が出ることも増えてきます。風がなく高温の日に発生しやすいので朝夕の涼しい時間を使って散歩など身体を動かしてフレッシュをして行きましょう！

コロナ禍が続き「新しい生活様式」が定着してきました。保育園では保育士がマスクで口元を見せることが出来ず、色々な場面での伝わりづらさを感じられてきています。赤ちゃんは、生まれてから1歳になる位の間に色々な人の顔やその動きを見て、表情を学ぶといいます。その時に重要なのが、目・鼻・口です。すべてが揃って「これは顔だ！」と認識するそうです。その後、数か月かけて笑ったり、怒ったりといった喜怒哀楽の顔の区別を学習していきます。こうして段々と「相手の気持ちや行動を理解していく能力の土台」を作っていくのだそうです。目で見ても情報が通じ合うのは大人の世界。赤ちゃんには、共鳴動作というものがあり、「お母さんが笑うと赤ちゃんも笑う」「お母さんが大きな口で美味しく食べていると子どもも好き嫌いなく食べる」とその時の感情を動作と一緒に感じていきます。少し前に子どもの「孤食」が問題になりました。一緒に食事をする重要性は、心のバランスを保ち身体の発達にも大きく関わっていきます。家の中に一緒にいても大人が向き合わず子どもだけの食事「孤食」と同じ状況ですね。家庭によって状況は異なってくると思いますが、マスク生活が子どもの発達に少なからず影響をしていることも考えて工夫をしていきましょう。困ったことがあったら保育園に連絡をください！一緒に考えていきましょう。コロナ禍の自粛と夏の疲れ…親も子ども水分補給、バランスの良い食事と睡眠をしっかりと、この夏も乗り切りましょうね！！



しっかり噛んで美味しく食べよう！！ ～上手に噛めるまでのワンツウステップ

(芽ばえ社)

上手に食べるための3つの要素

- ①口の器官がどれだけ成長してるかな？顎の大きさ、歯の生え方などはどうかな？
- ②あご、舌、唇などはどれくらい動くかな？まだ上手く動かないのに「食べろ！」と無理に与えたり硬いものをあげたり、反対に簡単な動きで処理出来てしまう柔らかさだと上手く発達しなくなってしまう。
- ③食べたいという意欲があるかな？

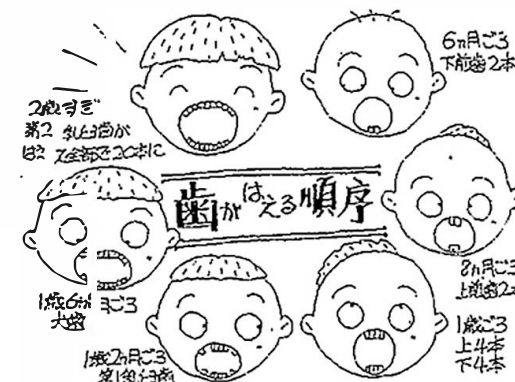
この3つが上手に関連して食べるに繋がっていきます。



「自分で食べる」為には口に食べ物を運ぶという手の行為も必要です。

つかんで口に持っていき食べられる大きさにかみ切る…口や手の発達が密接に関連し上手になっていくのです。手づかみ食べはとっても大事！

離乳が完了すると大人と同じものが何でも食べられると思いがちですが乳歯が奥歯まで生えそろうのは多くの子の場合2歳過ぎです。個人に合わせてそれまでは大きさ、硬さなど子どもにあったものを食べさせてあげましょう。



子育て地域支援ひろば

同じくらいの月齢の子と遊んだり、ママとお話したり、悩みや相談も皆で一緒に考えよう！

3回コース

9/16・10/14・11/18 (第3木曜日)

*R2年11月生まれ～R3年5月生まれ
第一子の方の参加お待ちしております。

保育園にTELにてお申込み下さい。

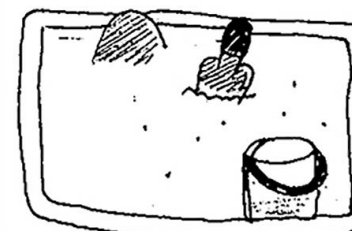
園庭開放・電話相談

も行っています。お気軽にお問合せ下さい！

(8月は、園庭開放はありません)

04(2946)3310

月～金 9:00～17:00



*緊急事態宣言などコロナの状況によっては中止になる事もあります。